

# 沿岸底海扇漁場調査

調査者 松平 昌 岡 誠 哉  
所 在 地 茨 城 県

## (一) 目的

漁具、漁法の改善を考究し此の種漁場の開発と生産的増産に資するべく実施した。

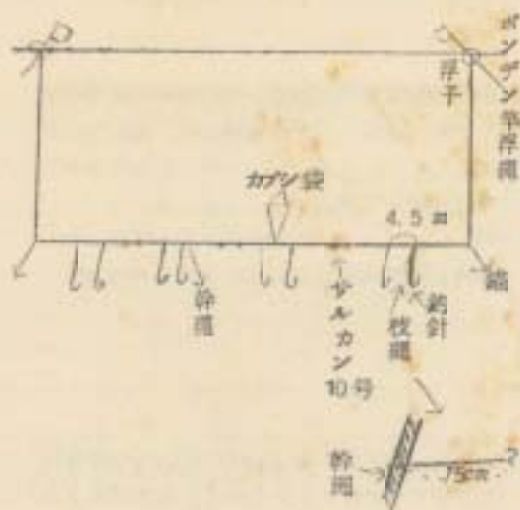
## (二) 調査方法

- (イ) 使用船舶 かもめ丸 5.95 屯 1.6 戸  
 (ロ) 乗組人員 かもめ丸 比嘉船長以下 5 名  
 (ハ) 明 間  
 第一次 自 1963 年 8 月 24 日 至 8 月 31 日 ( 8 日 )  
 第二次 全 年 11 月 6 日 至 11 月 13 日 ( 8 日 )  
 第三次 1964 年 1 月 15 日 至 1 月 22 日 ( 10 日 )  
 第四次 全 年 2 月 5 日 至 2 月 14 日 ( 10 日 )  
 第五次 全 年 2 月 26 日 至 3 月 6 日 ( 10 日 )

## (三) 使用漁具

- セキヤマ式 ( マグロ座のセキヤマ ) 2 針  
 綿 尾 式 ..... 2 針  
 一針の構成  
 第一次試験

第一図

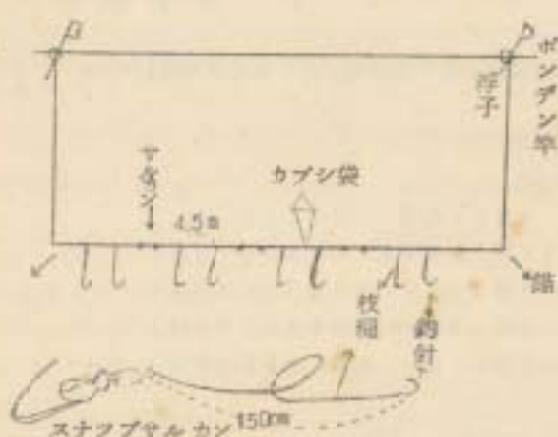


第一表

名称	材質	規格	数 量
幹 用	鋼線 (セキヤ)	27×5×5	225m×20本
枝 籠	ナ	2分	75cm×80~100本
浮 籠	綿 糸	120本	漁場水深×L5
釣 針	鋼 鉄	3.5寸	60~100本
サルカン	真 鍍	10号	20個
浮 子	ガラス	1尺	2個
カサ袋	真 竹	幅1~1.5	2本

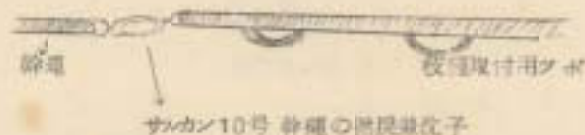
第二次～五次試験

第二回



第二表

名称	材質	規格	数量
幹繩	綱絲	27×5×5	225m×20本
〃	綱絲	20×15×3	675m×7本
版繩	ナイロン	2分	150cm×60～100本
浮繩	綱絲	210号	漁場水深×1.5
釣針	鋼鉄	1.8寸	60～100本
サルカ	真鍮	10号	20個
サツ竹サルカン	〃	10号	60～100個
浮子	ガラス玉	1尺	2個
サツ竹	真竹	粗径1.5	2本



内 漁 場

1. 神崎島周辺沿岸
2. 慶良間、伊江島沿岸

漁法の概要

漁場に到着すれば先づ潮流や流速を観察し、魚探知機で海底を調査し凹凸のつとも多い所或いは海底地質の変化が顕著な場所を設定し同時に水深を測定してから長業する。通入れ網掛けは潮上潮から実施した。第一次はセキヤマ式の漁具を使用した。二次からは同型はセキヤマ式で中間に浮繩器具二枚接続し、出来る次第時節接続して操業するようにした。鋼は冷浸サツ竹を両面切削し片身4～6枚に短冊切りし、頭、背、尻物等は小刻みに切つて「カブシ」(鋼)に使い、カブシ袋は一袋に一箇当り別添写真及漁具図のように取付けた。

(三) 漁業試験の概況 (第三表のとおり)

各地の漁況及び漁場の概況

(1) 慶良間諸島沿岸

三間味島と読名喜島間のトナキ台根は最大水深155m、最深60mの起伏の多い漁場で台根の中心部附近は硬い岩礁の層である。(採集6回)漁獲物はオオヒメ(俗名白魚)フカ類、キツネフエダイ、メバル類が主となりの獲率は最高250%の積々好漁を示し最深4mで平均的獲率61.7%を示し、普通漁かと思われる。

久松島西方沿岸の水深70～130m一帯は海底地形の変化少なく底質は砂及び貝ガラ混りの砂利質が多く島守りに緩やかな勾配となつている。(採集2回)主漁獲物はメイチ(俗名白魚以下メイチと反称す)とアマダイで平均的獲率は2%の凶漁であつた。

読名喜島北方2度ー16.6'N 12度ー22.2'E附近は水深150～170mで所々荒い底があるが、其の周囲は砂質が多く割合をならかな底質である(採集2回)漁獲物はハナアエダイ、オオヒメ、メバル類、フダイ等で平均的獲率は4.25%の低率である。

渡嘉敷島南東2 $\mu$ -4.2'、12 $\mu$ -2.4'および東方の2 $\mu$ -1.0'、12 $\mu$ -0.4'の  
付近ではフカ類の漁獲が目立ち他は見るべきものが少ない平均的漁率2.25%で北の調査海域よりも  
低下した。

## (2) 恩納沿岸

200 $\mu$ 等深線内の様状の漁場は狭く水深170~180 $\mu$ 以深は岩礁や珊瑚礁に覆われ150 $\mu$   
以深は砂質が多く所々泥質も若干混っている。(採集4回)漁獲物は深部でレンコダイ、浅部  
ではオオヒメが主体となり釣獲率は最高15.26%の豊漁があり最低3.3%の凶漁もあつた。  
平均的漁率は7.9%の相高率を示している。

## (3) 瀬底島及び西那島南岸

海面は起伏が少なく水深200 $\mu$ 以深は砂で浅は貝から混りの砂利質が多く砂及び珊瑚礁も  
点在している。西那島南岸では採集3回実施し、メバル類、ツマチビキ、ヒメジ等が漁獲され  
るが平均的漁率3.82%の低調漁りである。瀬底島南岸ではオオヒメ、とメタイの豊漁が主で  
採集3回平均的漁率6.06%を示し漁況は前記漁場よりよくなつた。瀬底島南岸のナゴ會根は  
直上の水深60~70 $\mu$ 内外で硬い岩礁の根である會根の間隔は230~300 $\mu$ 内外あつて砂利質と砂が多  
く頂部附近の水深70~90 $\mu$ 一帯ではアオノイ、ウメイロ、種属不明魚(新種と思われる)別活写真等が主  
漁獲物であり深部ではレンコダイとハマダイの主体となり平均的漁率は10.05%の好漁が得られた。(採集2回)

## (4) 伊江島沿岸

(イ) 北西會根、此の會根は伊江島西岸から凡そ6 $\mu$ の地点にあつて直径一連足らずの小円型の漁場  
で底質は礫及び貝ガラ混りの砂利質である。(採集1回)漁獲物の75%はレンコダイでヤントキダイ  
15%その他アカカ、ヒメダイも若干漁獲され釣獲率は8%を示し稍々好漁と思われる。

(ロ) 東部沿岸の水深80~100 $\mu$ 一帯は岩礁と珊瑚礁に覆われ処によっては砂質も幾分見受け  
られ100~170 $\mu$ 付近は珊瑚礁や礫、砂が多くそれ以深は砂質に礫が点在している程度であ  
る。漁獲物は(採集2回)水深80~150 $\mu$ 一帯ではフエダイ、メイチ、メバル類が主で好  
漁を得たが170 $\mu$ 以深ではレンコダイ、ハナフエダイ等が漁獲されるが凶漁である。平均的  
漁率は8.87%で相高率を示している。

## (5) 備瀬崎及び古宇利島北西沿岸

水深170~180 $\mu$ 一帯は岩礁や珊瑚礁が多くシナベ珊瑚も点在して確認している180 $\mu$   
以深は砂質が多く海底は緩やかな勾配で起伏は少ない。然し150~170 $\mu$ 付近には所々小型  
の荒い礁が突出している。

備瀬崎沿岸の57~62 $\mu$ の浅所ではメイチ、190 $\mu$ 以深ではハマダイ、レンコダイ、が主  
な漁獲物で採集は夫々2回実施し平均的漁率は前者3.75%後者2.96%の凶漁である。

一方110~190 $\mu$ 一帯では(採集2回)オオヒメを主体とする平均的漁率は15.5%の豊漁が  
得られ単位漁率に最多豊漁場となつている。又隣接している古宇利島沿岸漁場は採集4回で平  
均的漁率4.20%と低下した。両漁場の平均的釣獲率は6.60%を示している。

## (6) 辺土崎、与論島側

当漁場は辺土崎から東北東凡そ5.5 $\mu$ の地点に位し、海面水深310 $\mu$ の小高い會根があり、  
其の付近を魚探で調査した結果278 $\mu$ の浅所を発見した。底質は岩礁で所々起伏の激しい場所  
もあり會根の間隔は礫や砂質が多い。(採集5回)主な漁獲物はハマダイ、ハナフエダイ、レン  
コダイ、ヒメダイ、ヤントキダイ、等で平均的漁率10.91%の豊漁が得られ全調査海域を通じ  
最高率を示し漁場位置が極めて高い。

## (7) 沖繩島東沿岸

東村川田 沿岸の水深140~160 $\mu$ 一帯は珊瑚礁と砂質が多く(採集1回)メイチ、ヒメダイ、  
アサジ等が漁獲されたが釣獲率1.66%の凶漁で最低率を示し(漁場位置は至つて低調である。  
大浦沿岸の水深150~200 $\mu$ 一帯は岩礁や珊瑚礁砂等で処によっては泥質も見受けられる(採集3  
回)漁獲物はハナフエダイ、アサジ、ヒメダイ、カンサ等が主で平均的漁率は5.75%で上昇した。  
伊江島東沿岸の水深120~140 $\mu$ 一帯は岩礁と貝から混りの砂利質や砂質で(採集1回)オオヒメを主  
体とする釣獲率は7.58%の相高率を示しているが漁獲物が小魚や幼魚のため豊漁場の荒廃が見られる。

第3表 魚業試験表

操業年月日	漁場	投網始時	所要時間	水深(米)	底質	水温(C)	餌料	使用釣鉤数	魚種別魚獲高(尾数)												平均釣獲量
									メ	ヘ	シ	ア	サ	コ	イ	シ	ラ	サ	イ	イ	
63.8.25	徳洲崎石岸	7 <sup>h</sup> 30 <sup>m</sup>	44分	0	砂	28.3	幼サマ	95	5										5	5.38	
		8 <sup>h</sup> 30 <sup>m</sup>	57分	57~58					1	1									2	2.12	
		10 <sup>h</sup> 00 <sup>m</sup>	28分	192~212	R	28.9		169		2	2	1							5	2.96	
	古宇利島石岸	14 <sup>h</sup> 55 <sup>m</sup>	18分	80~98	細砂	28.5	イカ				2	2	1	1					6	3.55	
26日		10 <sup>h</sup> 50 <sup>m</sup>	20分	106~160	砂	28.1	イカサマ	25	4		5	4	1	1					15	5.66	
		10 <sup>h</sup> 50 <sup>m</sup>	30分	160~200											3				4	1.51	
		15 <sup>h</sup> 45 <sup>m</sup>	18分	96~92				280	1		3	4	2	1	1				15	5.55	
27日	辺土崎	12 <sup>h</sup> 20 <sup>m</sup>	30分	289~307	砂	29.0													50	10.71	
		14 <sup>h</sup> 50 <sup>m</sup>	29分	500~510		51													55	12.64	
28日		8 <sup>h</sup> 00 <sup>m</sup>	30分	296~320		28.9													30	10.71	
		11 <sup>h</sup> 55 <sup>m</sup>	29分	502~534		27.6		155											8	5.16	

● 底質符号 ○○サンゴ礁 ● 岩 ● 砂 ● 貝ガク ● 泥 ● 磯

採 集 月 日	魚 場	投網 開始 時間	投網 終止 時間	所 要 時 間	水 深 (m)	底 質	水 温 ℃	餌 料	使 用 釣 鉤 取 網 体	魚 種 別 漁 獲 高 (尾数)													平 均 釣 獲 量	備 考					
										ア サ ギ	メ ダ イ	メ ダ シ	メ ダ コ	メ ダ シ	メ ダ コ	メ ダ シ	メ ダ コ	メ ダ シ	メ ダ コ	メ ダ シ	メ ダ コ	メ ダ シ			メ ダ コ	メ ダ シ	メ ダ コ	メ ダ シ	メ ダ コ
65.11.7	切土崎 与論間	0A-30m 12A-30m		4時間	200-410	BC 砂	25.1	サマ	300		1	116												7	25	ナガサキ マダコ マダコ			
9	東村川田 尻	9A-18m A-			140-160	砂	25.3		21														2	5	1.66				
10	大浦湾 右	8A-30m 11A-15m		2時間45分	200-180	BC 砂	25.2			2	115	1											4	6	31	10.55			
11		8A-55m 11A-40m			150-200	BC 砂	25.1		370	1	9	1											2	4	3	23	6.22	ヒメ	
		12A-30m 5A-15m		3時間15分	150-165	砂	25.2				3	1											1	4	1	10	2.70	ホム	
12	伊計島 東	9A-45m 11A-40m		10時間55分	140-120	砂	25.0		290	1			1	2	1	17										22	7.58		
64.1.14	瀬成島 西	9A-35m 12A-35m		5時間	150-220	砂	22.5		400	1														3	5	3	18	4.50	
15	伊江島北 西	11A-20m 14A-20m			200-250	砂	22.6																	2	1	5	52	8.00	
16	伊江島 東	9A-10m 12A-10m			80-250	砂	22.3			8	4	3	16	8	1	1										46	12.00		
		13A-40m 15A-30m		2時間40分	100-85	砂	22.5			2																23	5.75		
20	瀬成島 南	11A-50m 14A-35m		5時間05分	120-140	砂	22.0		380	2			1	2	5	1								11	3	26	6.84		

採 集 月 日	採 取 場	採取時刻 捕獲時刻	所要 時間	水深 深 度	底質	水温 ℃	餌料	使用 釣 鉤 数 (個)	魚種別漁獲高 (尾数)													平均 釣 獲 率	備 考		
									メ ア マ ザ シ ン コ ダ シ ン コ ダ シ ン コ ダ シ ン コ ダ	ア サ マ シ ン コ ダ シ ン コ ダ シ ン コ ダ	カ シ ン コ ダ シ ン コ ダ シ ン コ ダ	フ カ シ ン コ ダ シ ン コ ダ シ ン コ ダ	シ ン コ ダ シ ン コ ダ シ ン コ ダ	シ ン コ ダ シ ン コ ダ シ ン コ ダ	シ ン コ ダ シ ン コ ダ シ ン コ ダ	シ ン コ ダ シ ン コ ダ シ ン コ ダ	シ ン コ ダ シ ン コ ダ シ ン コ ダ	シ ン コ ダ シ ン コ ダ シ ン コ ダ	シ ン コ ダ シ ン コ ダ シ ン コ ダ	シ ン コ ダ シ ン コ ダ シ ン コ ダ	シ ン コ ダ シ ン コ ダ シ ン コ ダ			シ ン コ ダ シ ン コ ダ シ ン コ ダ	
54.1.20	御茶畑 川 川 川 川 川	14~10分 17~05分	24時間25分	165~170 m	500 m	22.0	サンマ	300	2		2	4	18							2	2	26	6.84		
21	ナゾ管根	10~20分 13~50分	54時間10分	250~300 m	500 m	22.0	〃	300	5	5	2									6	2	30	7.89	新長島 川	
〃	恩納川岸	14~50分 17~50分	24時間40分	140~240 m	500 m	22.1	〃	380	18				57	1	2							58	15.26		
2.6	〃	06~15分 11~40分	54時間25分	170~235 m	500 m	20.5	〃	400	14						1							1	16	4.00	新長島 川
〃	〃	17~50分 15~00分	54時間10分	180~240 m	500 m	20.9	〃	400	24				3	1	1							4	36	9.00	
〃	〃	10~10分 17~57分	24時間32分	120~95 m	500 m	21.0	〃	400	5				1	1	1							15	3.33		
7	ナゾ管根	06~50分 11~55分	54時間	85~325 m	500 m	20.4	〃	400	17	26	3				1	2						7	50	12.22	新長島 川
8	南原島 南原岸	06~40分 10~50分	14時間50分	200~100 m	500 m	20.8	〃	296				1	1		1	2						7	2.36	新長島 川	
〃	〃	11~00分 13~55分	24時間55分	175~110 m	500 m	20.9	〃	296	1				3	2	1	3						13	4.98		
〃	〃	14~05分 15~55分	14時間50分	110~105 m	500 m	〃	〃	296	2			1	6		1							14	4.75		
9	南原島 南原岸	06~50分 10~55分	24時間16分	240~240 m	500 m	〃	〃	290					1	5								6	2.06	新長島 川	

操業年月日	漁場	投網時刻 操業時刻	所要時間	水深	底質	水温℃	餌料	使用釣筒数(筒)	魚種別漁獲高 (尾数)													平均釣獲高	備考							
									メヒロ	メヒロ	メヒロ	メヒロ	メヒロ	メヒロ	メヒロ	メヒロ	メヒロ	メヒロ	メヒロ	メヒロ	メヒロ			メヒロ	メヒロ	メヒロ	メヒロ	メヒロ	メヒロ	メヒロ
6.4.29	磯石岸	11A-10m 13A-25m	2時間25分190~140	R B	21	サンマ	290	5	1	1	1	4														23	7.95			
		13A-40m 16A-20m	2時間34分160~165						5	4			2	6	1												57	23.10		
27	トナキ 音根	10A-30m 13A-00m	2時間50分165~100	R B	21.3		400	2		1					5	2	2	5	6	1							29	7.25	雑魚5.	
		13A-08m 15A-50m	2時間27分60~100						9		2	2															30	7.50		
	八半島 四方船岸	10A-40m 13A-10m	2時間30分100~70	R B	21.6				1																		10	2.50	雑魚2. アサギ	
		13A-42m 16A-17m	3時間12分120~150						4																		6	1.50		
3.2	トナキ音根	06-25m 12A-30m	3時間05分14A~130	R B	21.4																						24	6.00	雑魚5. アサギ	
	トナキ音根	13A-00m 16A-05m	0.5分110	R B	21.6																						20	5.00	雑魚1.	
3	トナキ音根	06-00m 12A-00m	4時間10分150~150	R B																							29	7.25	アサギ アサギ	
	トナキ音根	13A-15m 15A-05m	2時間50分110~75																									15	4.00	
4.4	トナキ音根	06-05m 11A-05m	2時間40分150~70	R B	21.5																						6	12	5.00	

漁獲月日	魚場	投網始時 網網終時	所要時間	水深(柄)	底質	水温℃	餌料	使用釣鉤 (柄)	魚種別漁獲高 (尾数)										平均的獲高	備考			
									オホメ	ヒメ	メ	シ	イ	ラ	ア	エ	カ	コ			シ	ベ	計
64.5.4	1944(2) 前田附近	144-10 154-10	10時30分	160-150	砂	21.7	サシマ	200	5	5	1	1								11	5.50		
5	トカヤ海 26-27 175-17	94-17 124-05	20時56分	190-180	砂	22	サ	400				1	1	1	1						8	2.00	ウチワツダ 95
5	トカヤ海 26-27 175-17	134-10 26-10 175-17	20時55分	76-70	砂	21.8	サ	400	2			10	1	1							14	3.50	



各種漁場に於ける主要魚類物の体長組成表

① ハマダイ

漁 場	漁獲総数	体 長		体 高	
		最 大	最 小	最 大	最 小
辺土崎与輪島間	49尾	51.5尾	34.3cm	14.6cm	10.8cm
備前崎沿岸	3尾	32.5尾	27.3尾	9.3尾	8.5尾
ナ護曾根	12尾	31.9尾	26.3尾	10.9尾	5.8尾
大瀬沿岸	2尾	62.5尾	54.0尾	18.0尾	16.2尾

② オオヒメ

漁 場	漁獲総数	体 長		体 高	
		最 大	最 小	最 大	最 小
トナヤ曾根及び附近漁場	27尾	55.7cm	31.7cm	16.5cm	9.1cm
トカシキ北沿岸	4尾	33.3尾	23尾	9尾	6.2尾
オンナ沿岸	40尾	32.8尾	25.4尾	11.5尾	2.7尾
深底島南沿岸	18尾	29.2尾	26.1尾	8.8尾	7.5尾
備前崎及び古宇利島沿岸	74尾	31.8尾	20.5尾	2.1尾	4.6尾
伊計島東沿岸	17尾	28.9尾	18.7尾	3.8尾	5.3尾

③ レノコダイ

漁 場	漁獲総数	体 長		体 高	
		最 大	最 小	最 大	最 小
辺土崎~与輪島間	9尾	23.6cm	20.5cm	11.6cm	10.1cm
伊江島北西曾根	24尾	24.0尾	21.9尾	10.5尾	10.3尾
備前崎沿岸	11尾	25.5尾	15.1尾	11尾	6.5尾
ナゴ曾根	51尾	25.8尾	17.6尾	11.7尾	6.5尾
恩納沿岸	56尾	26.6尾	19.4尾	12.5尾	8.7尾

その他

メバル類

取 場	漁獲総数	体 長		体 高	
		最大	最小	最大	最小
大 浦 沼 岸	5尾	35.2cm	31.1cm	11.5cm	9.9cm
備 前 崎 沼 岸	15 "	39.5 "	21.2 "	13.5 "	6.0 "
ト ナ キ ソ 根	9 "	38.7 "	30.6 "	13.6 "	9.8 "
ト ナ キ 北 沼 岸	5 "	36.8 "	25.6 "	11.7 "	7.1 "
瀬 底 島 南 沼 岸	11 "	37.7 "	34.5 "	13.2 "	12.0 "

アオダイ

辺 土 崎 与 首 間	2尾 (1本釣)	48.8cm	42.9cm	17.0cm	16.0cm
ナ ゴ ソ 根	6 "	34.0 "	29.5 "	12.3 "	10.9 "
大 浦 沼 岸	8 "	27.7 "	20.5 "	10.1 "	7.4 "

キントキダイ

辺 土 崎 与 首 間	5 "	36.5cm	25.0cm	15.5cm	10.3cm
伊 江 北 西 首 根	5 "	29.6 "	15.3 "	12.5 "	7.0 "

メイチマ (俗名白魚)

備 前 崎 沼 岸	9 "	34.2cm	29.5cm	12.8cm	11.4cm
ト ナ キ ソ 根	14 "	37.7 "	28.2 "	14.2 "	11.7 "
久 島 島 西 方 沼 岸	5 "	46.2 "	24.1 "	16.8 "	9.6 "

カンベチ

大 浦 沼 岸	5 "	63.3cm	55 cm	19.3cm	14.9cm
ト ナ キ ソ 根	6 "	55.3 "	46.9 "	15.2 "	13.7 "
瀬 底 島 南 沼 岸	3 "	60.0 "	35.0 "	16.6 "	1 9 "

漁具漁法の改良について

今回は下記のとおり改良試験した。

(1) 改良点

- (イ) 枝網の長さを2倍にして(7.5mから15.0m)末端にはスナッフ付サルカンを取付けた。
- (ロ) 幹網は4.5m毎にフタを設け枝網の取替はスナッフサルカンで操作した。
- (ハ) 一鉢に一箇高カブシ(指餌)を給付した。
- (ニ) セキヤマ式器具を両端に練網式器具を中間に接続して併用した。

(2) 結果

- (イ) 枝網の隠れや幹網との絡まりが少なくなり捌きが良くなった。其の上従来の如く枝網が短い場合はフリ網等により強獲物と幹網が一緒に食切られる事もあったが今回は此の様な損失はなかった。
- (ロ) 操業中枝網の取替えが容易になった。
- (ト) カブシは魚群を寄せつけるのに随分効果がある模様で強獲物はカブシを中心に其の近辺の釣

針で多獲される傾向がある。

(イ) 漁具の漁掛りが少ない(漁獲の増進に役立つ)。尚、船入れ網掛は潮上側から実施した。

欠点 (イ) スナツブサルカンの費用が高価(1鉢を1.50~2.00)。

(ロ) フカ等がカブシを食うために幹間まで喰切られる場合もある。(取付紐をのばせばこれらの損失は避けられると思う)。

### 魚種別総合漁獲比

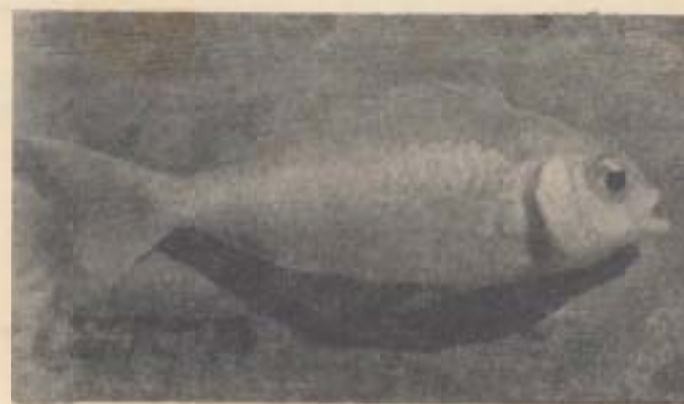
利用価値の低いナガサキトラザメ、ホーボー、ウナギ類、カワハギ類、フダ類等除き(小フカ類、メバル類は各一種として)28種約得られ其の比率は次のとおりである。

### 漁獲尾数と漁獲比

漁獲状況	種	種名																											
		オオヒキ	ヒキ	キ	ア	フ	カ	ヒ	メ	フ	レ	ハ	平	メ	シ	ツ	平	ウ	ア	ヒ	イ	ブ	キ	カ	ム	カ	ム		
漁獲尾数	九六五尾	八四	三八	一	一六	七〇	一七	二〇	一七	三六	六五	三五	〇六	三八	六六	三	五七	二七	一	二九	三二	三六	一六	五	一				
漁獲比	一〇〇%	九〇	三九	一	一六	七二	一七	二〇	一七	三六	六五	三五	〇六	三八	六六	三	五七	二七	一	二九	三二	三六	一六	五	一				

\*「アマチ」「ヒンガーシチュー」は何れも琉球名であり、和名はなし。(琉球産フエダイ科魚類の研究(1) 藤原士郎)

ナガサキで漁獲された種属不明魚は9尾で平均体長22.7cm本長7cmであった。(写真下)



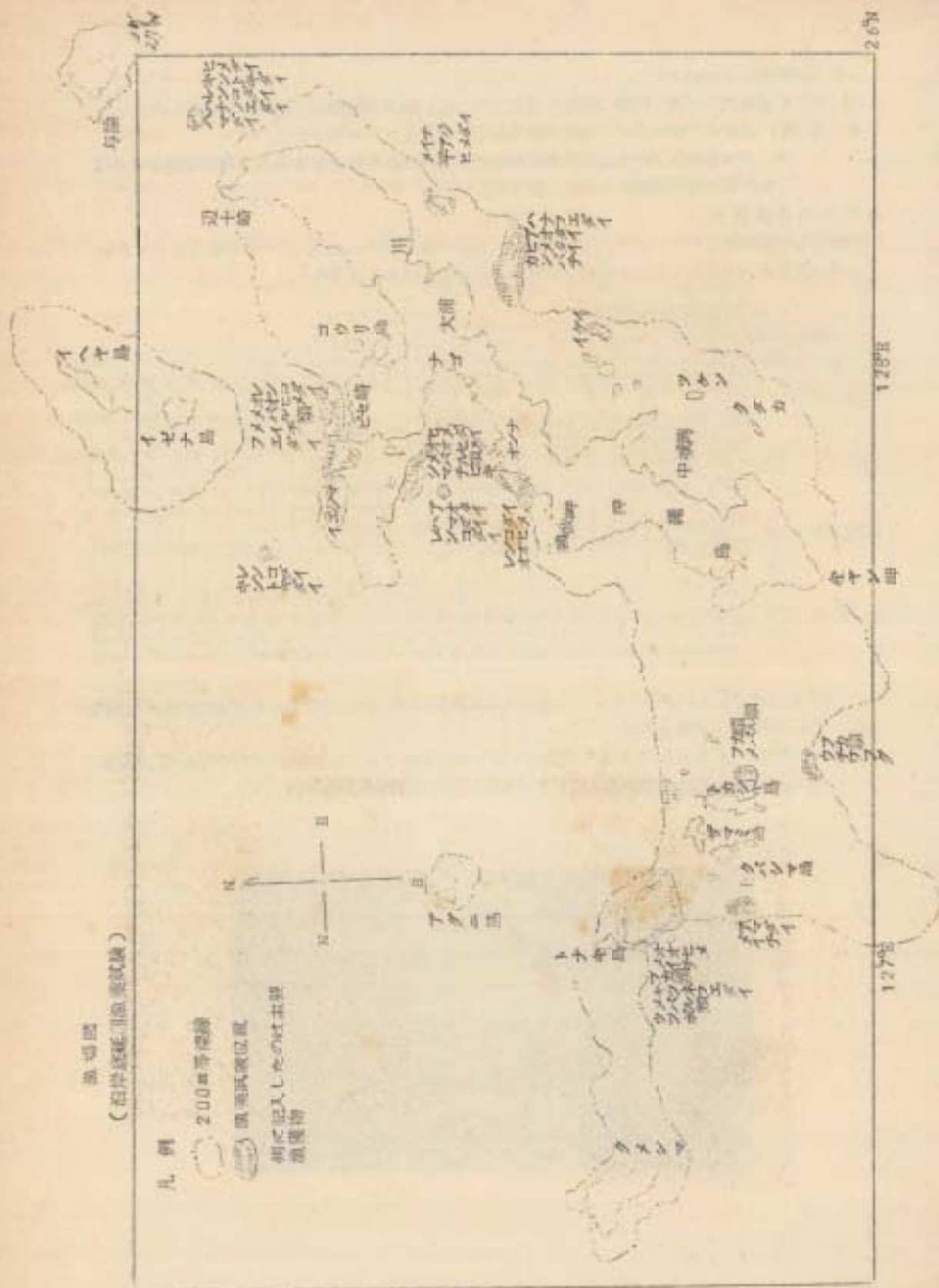
漁場図  
(石狩湾(道庁委託))

凡例

○ 200m等深線

◎ 漁業試験位置

○ 網に記入したの社名  
漁業場



考 察

漁場は東海に移行し漁獲物は「オオヒメ」「アオダイ」「ハマダイ」等を目標にした操業形態が望ましく、又そうする事により近土崎沖漁場の如く豊漁の得られる漁場が次々と発見されるものと考へられる。従つて今後は此等の漁場に適する漁具資材の選定や漁具の構成方法等研究し併せて罟揚機を考案し操業の効率化と漁場の開発につとめたい。



↑「カブシ」を紐付けて枝麗する所  
(左の前)



大場島西方沿岸で漁獲された  
「アサヒガニ」の一種



↑此の魚は「和名」不明で沖縄では  
「ヤヤー」と呼んでいる。